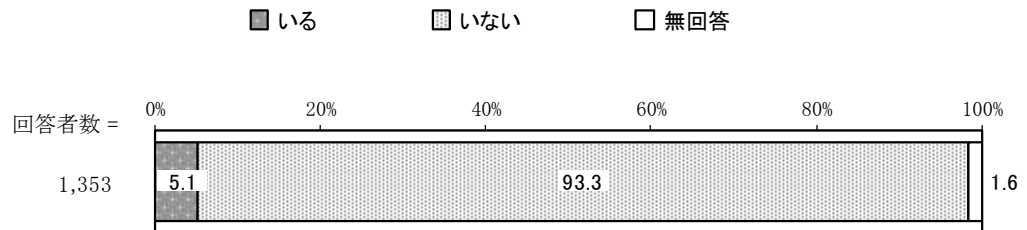


第6章 ひきこもりについて

問37 あなたの家族（あなたご自身が対象者である場合も含まれます。）に「ひきこもり」（過去6か月の間、外出していても家族以外の人とのコミュニケーションがほとんどない状態）の方がいますか。（1つだけ○印）

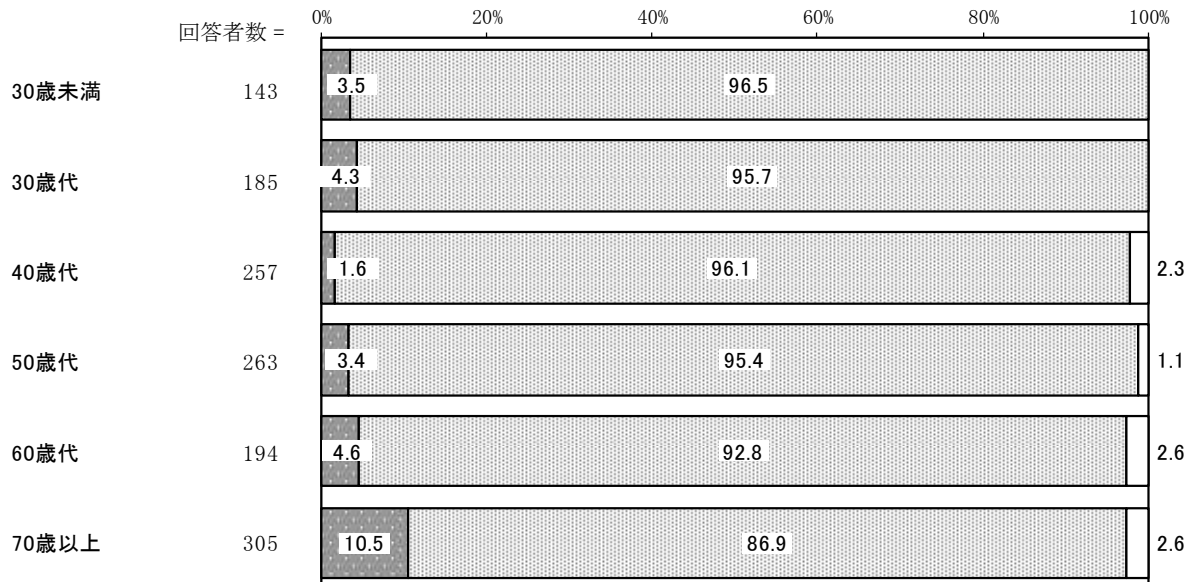
「いる」の割合が5.1%、「いない」の割合が93.3%となっています。

図表6-1 「ひきこもり」の人の有無（単純回答）

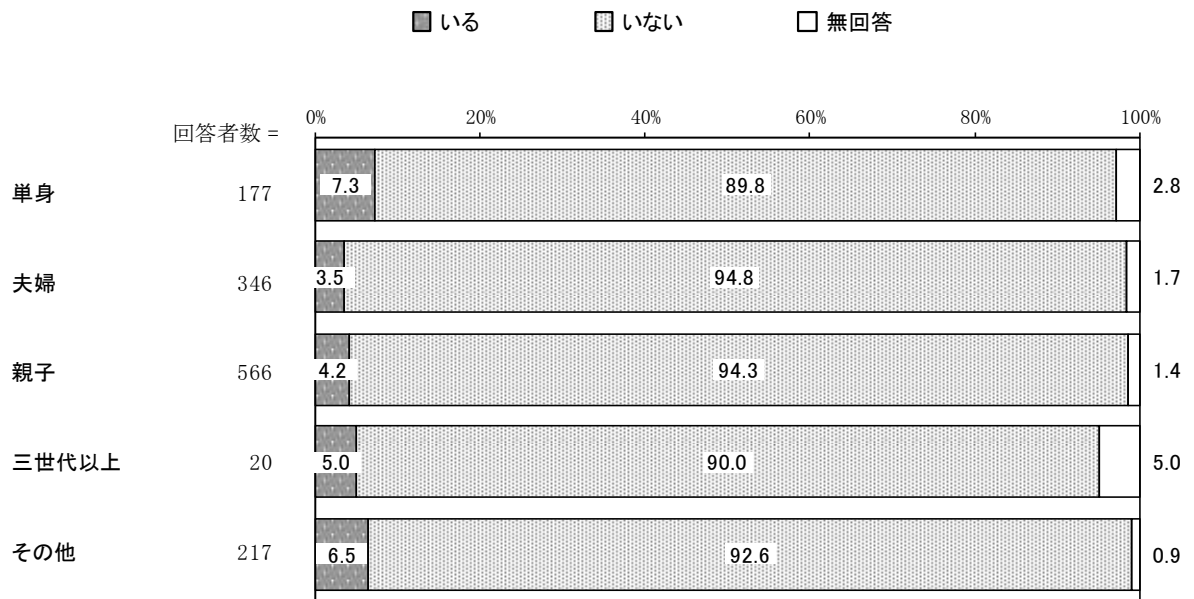


年齢別でみると、他に比べ、70歳以上の方の家族にひきこもりの方が「いる」割合が高くなっています。

図表6-2 「ひきこもり」の人の有無（年齢別）

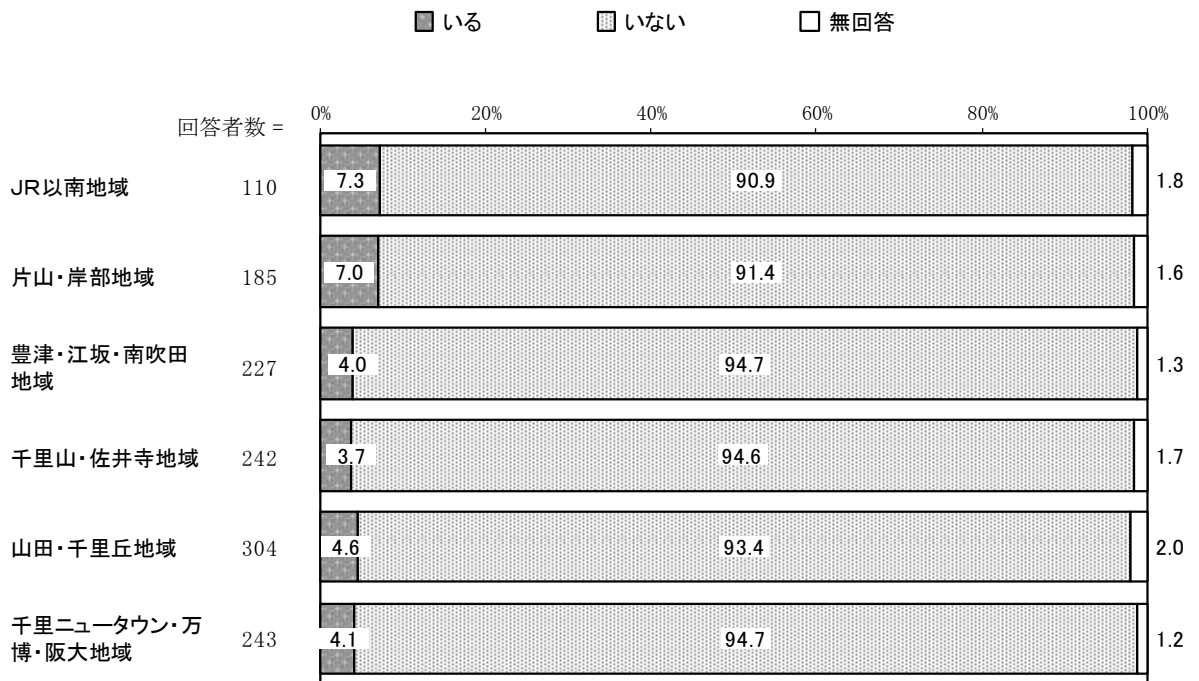


図表 6-3 「ひきこもり」の人の有無（家族構成別）



居住地域別で見ると、大きな差異はみられません。

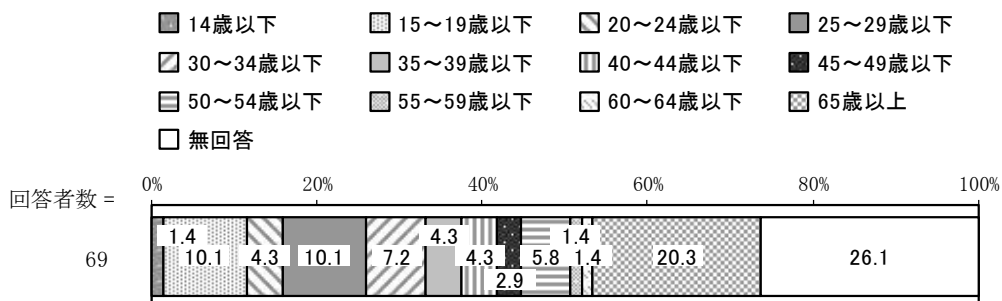
図表 6-4 「ひきこもり」の人の有無（居住地域別）



問 37-1 対象者の方はいくつですか。(1つだけ○印)

「65歳以上」の割合が20.3%と最も高く、次いで「15～19歳以下」、「25～29歳以下」の割合が10.1%となっています。

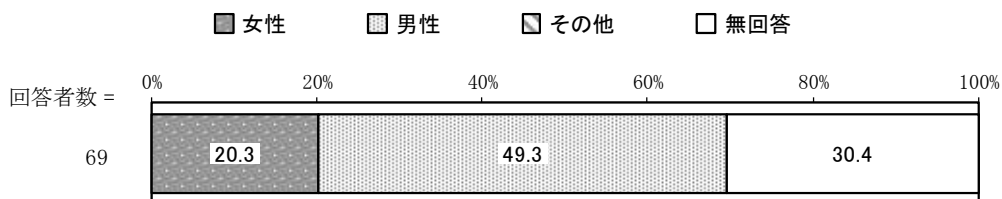
図表 6-5 「ひきこもり」の人の年齢(単純回答)



問 37-2 性別はどちらですか。(1つだけ○印)

「女性」の割合が20.3%、「男性」の割合が49.3%となっています。

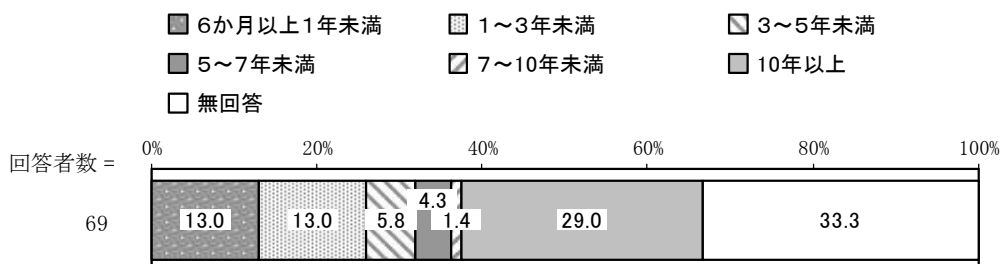
図表 6-6 「ひきこもり」の人の性別(単純回答)



問 37-3 現在の状態になってからどのくらいの期間を経過していますか。(1つだけ○印)

「10年以上」の割合が29.0%と最も高く、次いで「6か月以上1年未満」、「1～3年未満」の割合が13.0%となっています。

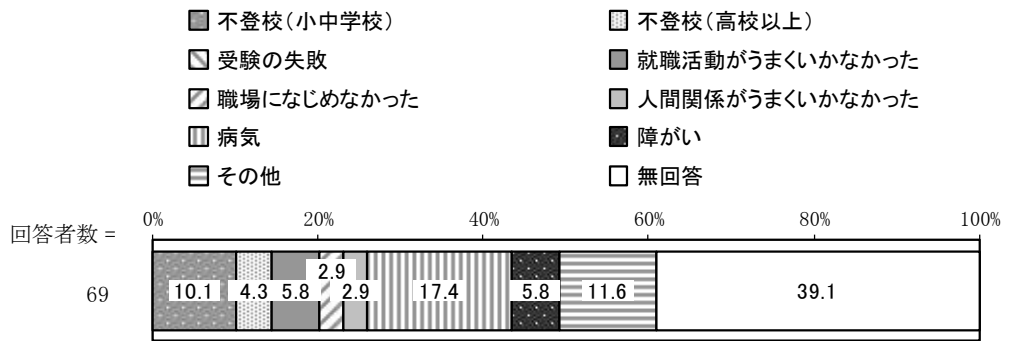
図表 6-7 「ひきこもり」期間(単純回答)



問 37-4 どのようなきっかけで現在の状態になりましたか。(1つだけ○印)

「病気」の割合が17.4%と最も高く、次いで「不登校(小中学校)」の割合が10.1%となっています。

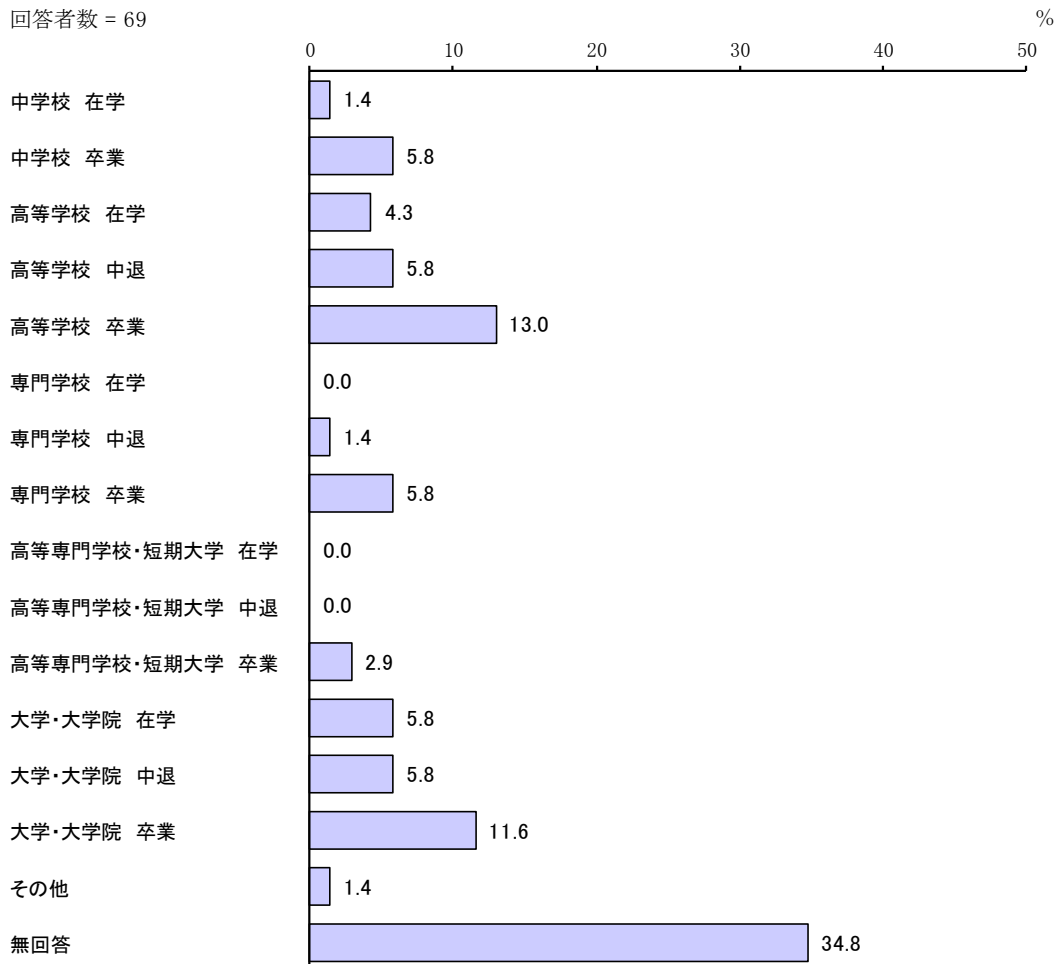
図表 6-8 「ひきこもり」になったきっかけ(単純回答)



問 37-5 最後に卒業もしくは中退した、または現在、在学している学校はどれですか。(1つだけ○印)

「高等学校 卒業」の割合が13.0%と最も高く、次いで「大学・大学院 卒業」の割合が11.6%となっています。

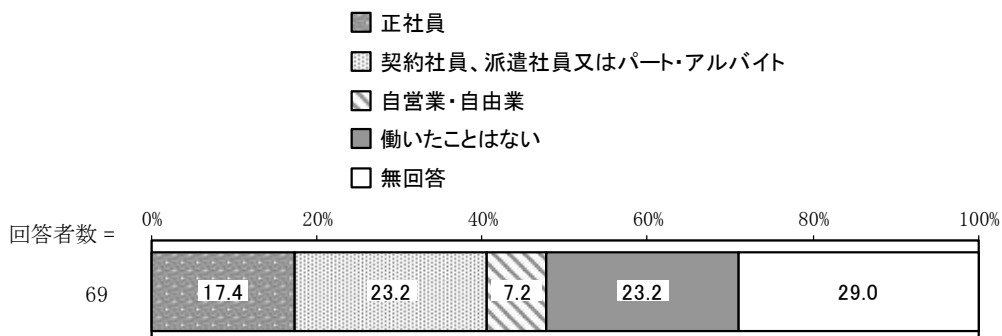
図表 6-9 「ひきこもり」の人の最終学歴(単純回答)



問 37-6 最後に就労した状況についてお答えください。(1つだけ○印)

「契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト」、「働いたことはない」の割合が 23.2%と最も高く、次いで「正社員」の割合が 17.4%となっています。

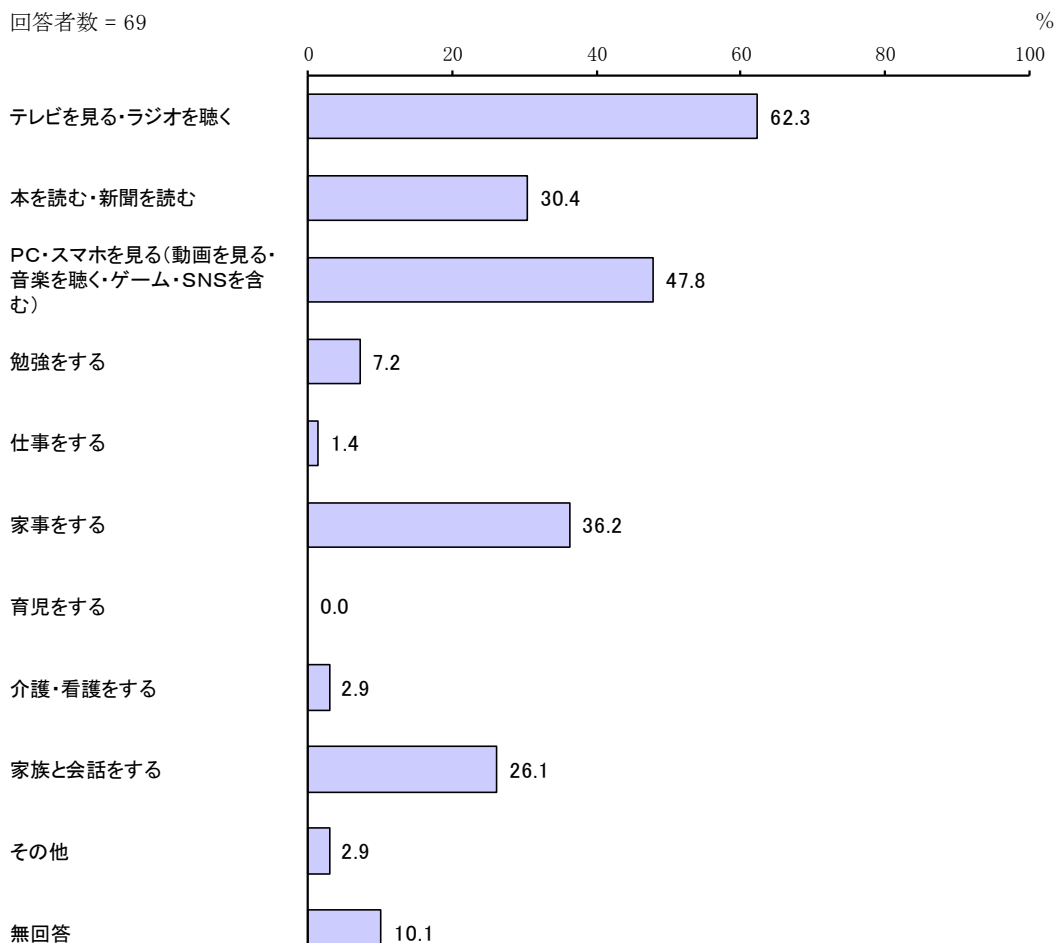
図表 6-10 「ひきこもり」の人の就労状況 (単純回答)



問 37-7 普段ご自宅にいるときに、よくしていることすべてに○をつけてください。(いくつでも○印)

「テレビを見る・ラジオを聴く」の割合が 62.3%と最も高く、次いで「PC・スマホを見る(動画を見る・音楽を聴く・ゲーム・SNSを含む)」の割合が 47.8%、「家事をする」の割合が 36.2%となっています。

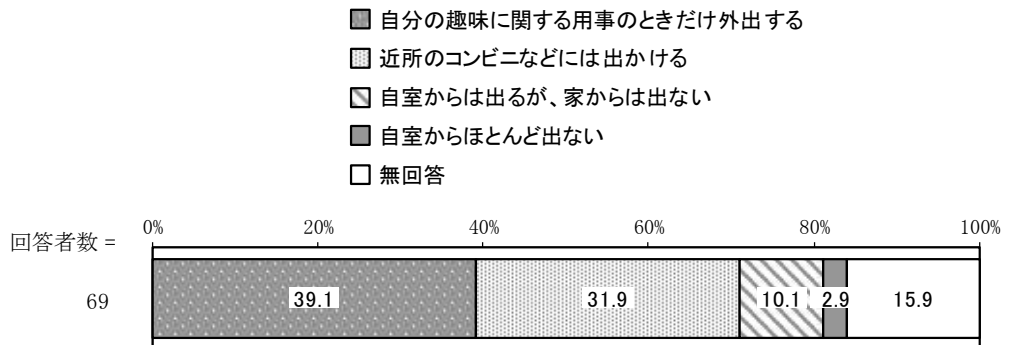
図表 6-11 「ひきこもり」の人のよくしていること (単純回答)



問 37-8 現在、普段どのくらい外出しますか。(1つだけ○印)

「自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「近所のコンビニなどには出かける」の割合が 31.9%、「自室からは出るが、家からは出ない」の割合が 10.1%となっています。

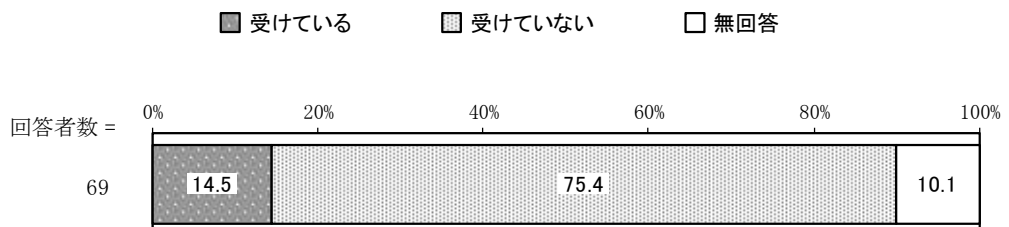
図表 6-12 「ひきこもり」の人の外出頻度 (単純回答)



問 37-9 現在、福祉サービス (介護・障がい等) を受けていますか。(1つだけ○印)

「受けている」の割合が 14.5%、「受けていない」の割合が 75.4%となっています。

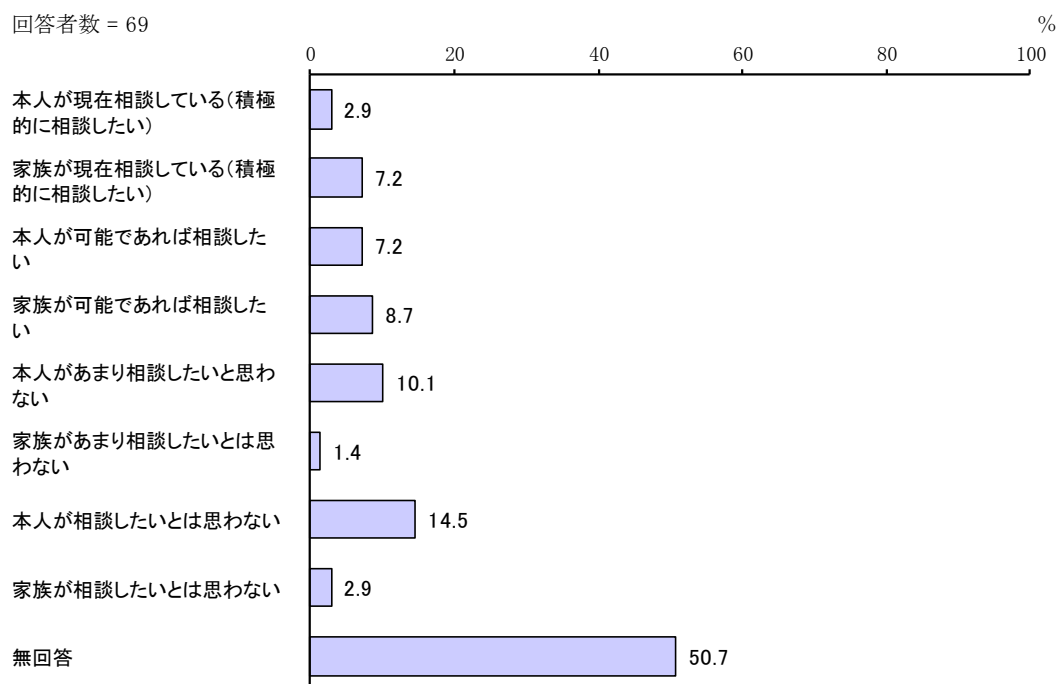
図表 6-13 「ひきこもり」の人の福祉サービス受給状況 (単純回答)



問 37-10 現在の状態について相談する意思がありますか。(いくつでも○印)

「本人が相談したいとは思わない」の割合が 14.5%と最も高く、次いで「本人があまり相談したいとは思わない」の割合が 10.1%となっています。

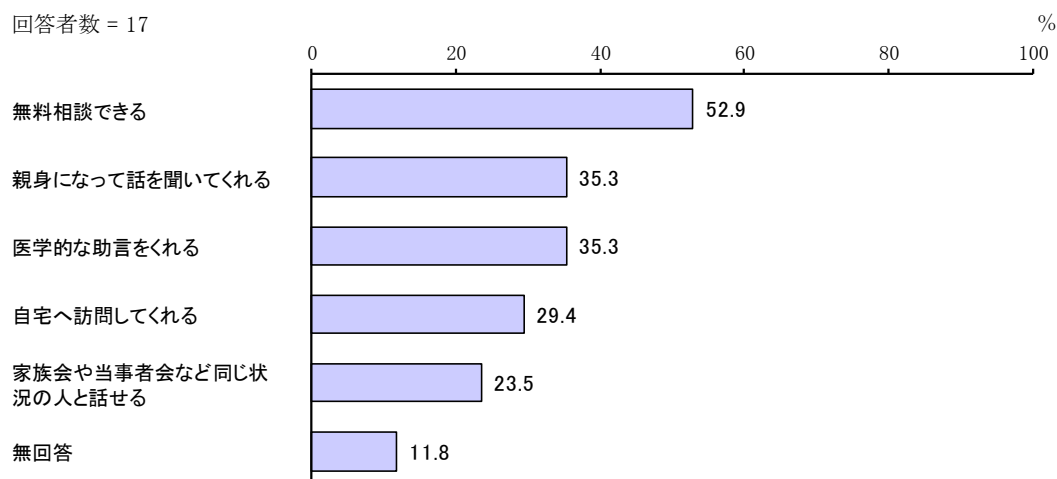
図表 6-14 「ひきこもり」の人の相談する意思 (単純回答)



問 37-11 相談機関への希望はありますか。(いくつでも○印)

「無料相談できる」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「親身になって話を聞いてくれる」、「医学的な助言をくれる」の割合が 35.3%となっています。

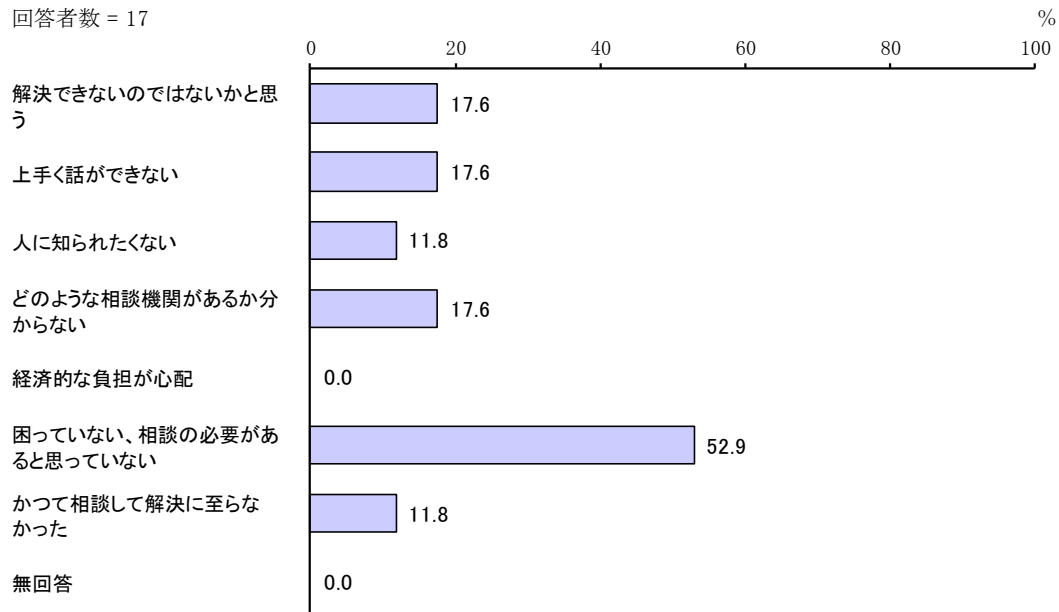
図表 6-15 「ひきこもり」の人の相談機関への希望 (単純回答)



問 37-12 相談したくない理由は何ですか。(いくつでも○印)

「困っていない、相談の必要があると思っていない」の割合が 52.9%と最も高く、次いで「解決できないのではないかと思う」、「上手く話ができない」、「どのような相談機関があるか分からない」の割合が 17.6%となっています。

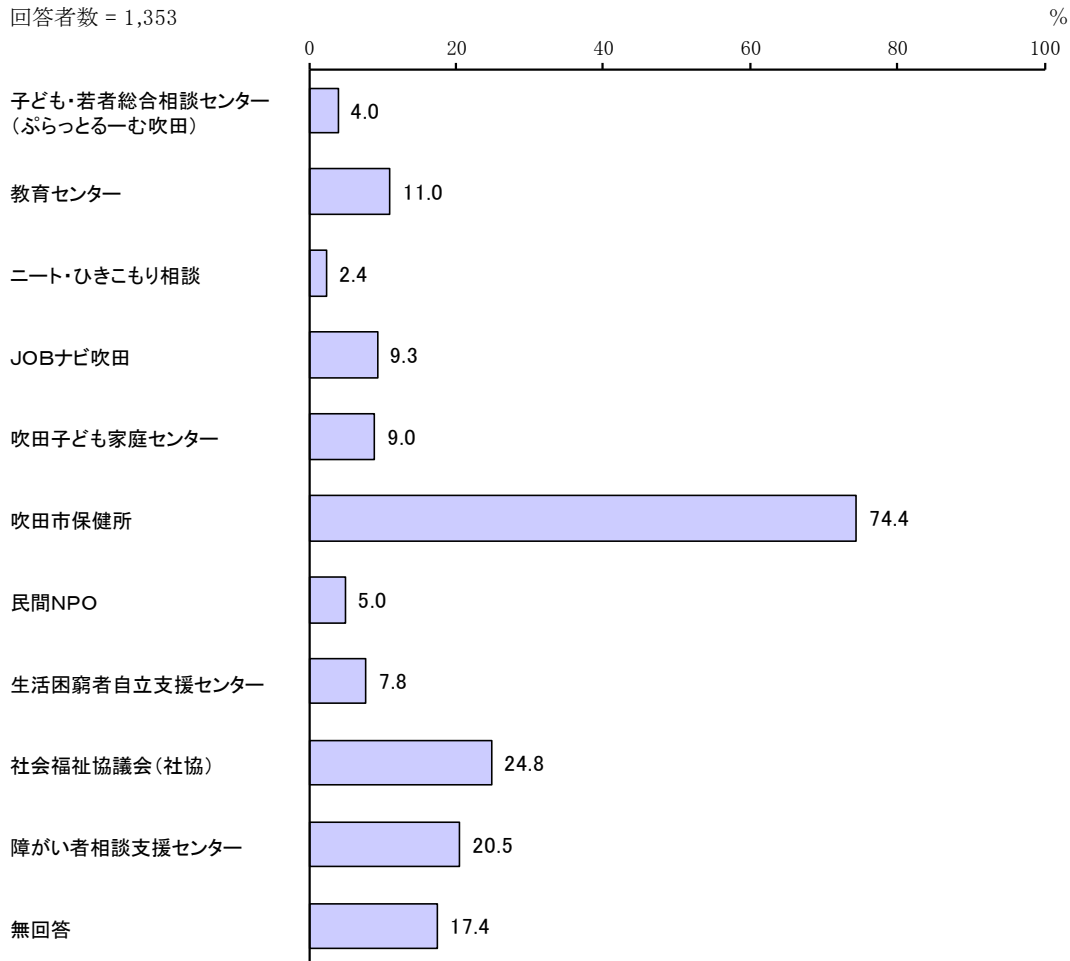
図表 6-16 「ひきこもり」の人の相談したくない理由(単純回答)



問 38 あなたが、次の相談機関のうち知っているものはどれですか。
(いくつでも○印)

「吹田市保健所」の割合が 74.4%と最も高く、次いで「社会福祉協議会(社協)」の割合が 24.8%、「障がい者相談支援センター」の割合が 20.5%となっています。

図表 6-17 相談機関の認知度 (単純回答)



年齢別でみると、どの世代においても「吹田市保健所」の割合が高くなっています。

図表 6-18 相談機関の認知度（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	子ども・若者総合相談センター （ぶらっとるーむ吹田）	教育センター	ニート・ひきこもり相談	JOBナビ吹田	吹田子ども家庭センター	吹田市保健所	民間NPO	生活困窮者自立支援センター	社会福祉協議会（社協）	障がい者相談支援センター	無回答
30歳未満	143	4.9	9.8	4.2	4.2	6.3	63.6	13.3	11.9	8.4	23.8	23.8
30歳代	185	5.9	10.3	2.7	11.9	16.2	67.0	4.9	4.3	13.0	19.5	20.5
40歳代	257	3.9	12.8	1.9	14.0	12.5	75.1	5.4	8.2	20.6	21.0	17.5
50歳代	263	3.0	10.3	1.9	14.1	11.0	81.7	5.7	6.8	29.3	21.3	11.4
60歳代	194	4.1	12.9	0.5	8.8	7.2	78.9	3.1	9.3	33.0	23.2	14.9
70歳以上	305	3.3	10.2	3.3	2.6	2.3	74.8	1.3	7.9	34.1	17.0	19.0

居住地域別でみると、どの地域においても「吹田市保健所」の割合が高くなっています。

図表 6-19 相談機関の認知度（居住地域別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	子ども・若者総合相談センター （ぶらっとるーむ吹田）	教育センター	ニート・ひきこもり相談	JOBナビ吹田	吹田子ども家庭センター	吹田市保健所	民間NPO	生活困窮者自立支援センター	社会福祉協議会（社協）	障がい者相談支援センター	無回答
JR以南地域	110	1.8	14.5	4.5	16.4	10.9	79.1	5.5	5.5	30.0	19.1	11.8
片山・岸部地域	185	5.9	13.0	2.2	20.0	9.2	76.2	5.9	10.3	21.1	18.4	16.2
豊津・江坂・南吹田地域	227	2.6	7.0	2.6	7.5	7.9	72.7	3.5	9.7	22.5	19.4	21.1
千里山・佐井寺地域	242	4.5	10.3	2.5	8.3	10.3	74.4	5.8	7.0	26.0	21.9	16.5
山田・千里丘地域	304	3.6	12.2	1.0	5.6	9.9	78.0	4.6	6.3	26.3	20.1	16.1
千里ニュータウン・万博・阪大地域	243	4.5	9.1	2.5	5.8	7.0	71.2	4.9	7.8	24.7	21.8	18.1